

## 11 月記者懇談会

令和 2 年 11 月 25 日 (水)

午前 11 時 203 会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞  
事務局：山口、那須

### 町長月間予定 総務課

・月間行事予定の説明

### 町の主なトピックス (担当課 P R 分)

#### ・箕輪町成人式について (文化スポーツ課 生涯学習係)

新成人でつくる実行委員会を 9 月 4 日に立ち上げ、登内実行委員長のもと 4 回実行委員会を開き、コロナ対策を主として検討を重ねてきました。

当初令和 2 年 8 月 15 日 (土) を予定していましたが、令和 3 年 1 月 3 日 (日) に文化センターのホールで行います。対象者は、平成 11 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日生まれの町内在住者及び出身者 304 人となっています。

コロナ対策のため受付を 2 つに分けさせていただきました。

会式は午後 1 時 30 分、式典終了後に記念撮影を予定しています。

コロナ対策を取りながらの実施を検討していますが、現在、上伊那郡でもコロナ感染者が増えてきましたのでタイミングを見て、今後、延期等の検討もしていかなければとも考えています。

対象者の方へは案内状と出欠報告のはがきを 11 月 20 日に発送させていただいたところです。

(資料に基づき説明)

記者) 今後のコロナの状況を見て最終的な判断ということだと思いますが、具体的にどういう過程で、いつ頃までに判断するのですか。

⇒ 具体的なスケジュールは未定ですが、状況を見て実行委員会を開いたり理事者との打ち合わせも重ねながら決めていければと思っています。



## ・「みんなで歩こう！箕輪町ウォーキンググランプリ」の結果について

(健康推進課 健康づくり支援係)

以前、エントリーのご案内をする際に記者懇談会にて説明させていただきました。

イベント期間は、令和2年10月12日から30日間、実際にウォーキングに取り組んでいただきました。

エントリー状況ですが、個人エントリーが122人、グループでエントリーされたのが34グループ462人、合計584人の方にエントリーいただきましたが、実際アプリを登録して参加いただいた方が520人になります。男性244人、女性276人、33グループになります。

内訳ですが、最少年齢が11歳、最高年齢が85歳となっています。40代、50代のところが多く、約50%を占めているのが大きな特徴かと思います。

個人ランキング、グループランキングですが、ニックネームでの発表とさせていただきます。グループの方ですが、お友達ですとか家族ですとかで参加いただいた方がこのグループ部門の1～3位の方になります。企業の方の1～3位はこちらに載っているとおりです。

結果報告ですが、上位の方には本人の意向を確認しながら担当課の方でインタビューをしたいと思っています。その後担当課の方で上位の方の取り組みなどをまとめたものを発表させていただきたいと思っています。年齢、性別、職業等個人の背景がわかる程度の情報は掲載できるよう願います。

参加者には結果報告書を作成し、メールや郵便等で周知させていただくということと、広報やプレスリリースをさせていただきます。

表彰ですが、個人は10位までは景品を送付する予定です。グループ参加企業につきましては、表彰状授与とみのわ新聞の広告にて企業のPRをさせていただきたいと思っています。グループ参加者は表彰状の授与を予定しています。平均8,000歩以上歩いた方へは抽選で協賛事業所からの協賛品を贈呈する予定です。

協賛事業所の一覧を載せさせていただきました。こちらの事業所様より様々な協賛品をいただいています。

比較的働き盛りの若い方に参加いただいたと思っています。事業所に対してグループ参加のご案内をしたことですか、スマートフォンを使ってのランキング形式でのイベントだったことが若い方の参加につながったと思っています。参加者の平均歩数も9,628歩、グループ33チーム中20チームが平均8,000歩以上というような結果になっています。平均8,000歩というのはウォーキングで生活習慣病予防するには8,000歩と提言している先生もいらっしゃいますし、健康アカデミーの寺沢先生も参加者が8,000歩を超えるのはすごいことだといつも評価をいただいていますので、そういった観点から平均8,000歩以上



というのはよかったのではないかと思っています。実際に事業所の方からは、皆で声を掛け合って歩いたとか、がんばっている人に引っ張られるように歩いたというような感想をいただいています。職場内のコミュニケーションのきっかけにもなったという声もあり、楽しく参加いただけたと思っています。

(資料に基づき説明)

記者) 表彰式を予定されていますか

⇒ 当初より式は予定していません。賞状等の授与のみです。

記者) ニックネームだとか紹介が難しいと思うのですが、本名を出せませんか。

⇒ 交渉、調整はしていきたいと思っています。

町長) この事業は、健康づくり推進条例を策定をしての記念事業としていくつか予定していた中の1つで、一定のきっかけにはなったということと、若い人達にも参加していただき、きっかけづくりにはなったと思っています。

もう少し周知をする時間があれば参加者も増えたのではと思っています。

やり方等考えながら、またいくつかウォーキングイベントもありますので、続けていきたいと思っています。

大成功だったと思っています。

## 町長コメント

町長2期目の折り返しに入るということで、町民の皆様からご信任をいただけて仕事をさせていただいていますので、基本政策集で提示した内容について取り組んできた成果等のお話をする機会を設けさせていただきます。

資料としてお出しさせていただきますので、ご覧いただきたいと思っています。

基本的に5つの基本姿勢の中でお話させていただくのが今までの通例であります。特にあらゆる政策を総動員して人口減少対策を実施していくということが一番の眼目でありましたが、それらを踏まえて今回2年間の成果について提示をさせていただくということです。

10の重点事項と48の項目というのがあり、項目が非常に多いので評価の仕方が非常に難しいのですが、記載させていただいた評価基準に基づいて評価させていただきました。

基本的な考え方は、評価自体は自己評価としてありますが、実は担当課の評価です。私が評価したというよりは、担当課でこの内容についてどういうレベルにあるかという評価をさせていただきました。客観性のある程度保った方がよいということで自己評価としな



がら担当課の評価であります。私の達成イメージと若干異なっている部分もありますが、あえて変更していません。

今回の評価結果であります。48項目の内4という評価をいただいたのが5項目、これは実施済または一定の成果が表れているものが5項目、取組み中で進捗度合いが高いものが14項目。取組み中が28項目、未実施1項目ということで財政状況の見える化という部分の実施されていないという評価になりました。括弧内は昨年のものであります。昨年と比べますと一定数少しづつ上がっていますので、ある程度プラスの方向にあると思いますが、1つについては逆に落ちているものもありますので、こういった点からやっていかなければいけないと思っています。総括的に申し上げれば、2期目2年といっても6年が終わるということですので、私自身は特別なものを集中してやろうというよりは、総合行政の中で実施をしていきたいという考え方です。基本政策、振興計画に書いてあるもの、そういったものをピックアップしてあり、そもそも取り組んでいなければいけないものですので、このようなレベルになるのは当たり前だと思っています。どちらかというと、効果とか成果とかまだ見えないという評価をされているものがまだいくつかあるということで、それの方が課題かと思っています。

今年の1年について言えば、昨年までに仕組んできた事業をなんとか施策にしたいと思っていましたが、結果的には新型コロナの問題とそれに関わる景気の動向によって、何より人口対策が非常に厳しい状況に置かれたというのが一番の総括せざるを得ない状況かと思っています。特に、一番最初がいけなのですが、少子化等によって評価が3から2に落ちている部分があります。これは、一番の大事な施策として人口減少に対応したいということでやってきました。人口減少は実は止めようがないのですが、この4年間横ばいを維持してきたわけですが、結果的にこの一年で大きく減少に転じています。前回は申し上げましたけれども、この1月から11月までの間に169人の減少なのですが、特に外国人がその内102人ということで、景気とコロナのダブルパンチだったとは思いますが、一方で出生数も減少しているということもありますので、やはり新たな少子化対策、人口減少対策を打ち出さなければいけないと考えています。この評価はやむを得ないと思っています。

もう1つ評価としては、今年も区分2に位置付けられました2番の地域コミュニティの問題です。この問題も実は非常に大きな問題で、コミュニティの活性化策を実施することで、そういった取りまとめもして実行段階に入ったとたんにコロナになってしまったということがあり、実は常会の加入率が減少しています。減少した理由はいくつかあるのですが、1つは世帯分離が進んでいるということで加入者数は増えているのですが加入率そのものは減少してしまっているということがあります。その辺をもう一度考えていかなければいけないと思っています。

9番の項目ですが、リニアや三遠南信に関わる部分で1から2に評価が上がっているのですが、コロナによってライフスタイルが大分変化しているというのがあり、それに関わる施策展開が始まったということで2の評価がされたのだと思います。

それと3ページの学校教育の3番、学校教育に関わる様々な学力課題、教員の指導力の向上等々の成果であります。これが3から4に上がっています。教育環境は、ある意味整備されました。これはコロナの副産物みたいなところがあり、ギガスクール構想もそうですし、それに関わるICT環境が整ったということで教育委員会では4という評価をしたのだと思いますが、これが具体的な中身まで、教育の中身までいっていないので、私はこれからだと思っています。教育委員会としては最低限の整備がこの地区の中ではいち早く全体に届いたということで4の評価されたようであります。

次の4ページには5番のところにエアコンのことが書いてあります。3から4ということで、今回の補正でほぼ整ってきますので4という評価をしたのだと思いますが、小中保育園の冷房設備が整ったということ、それと7番の老朽化、狭隘、耐震過不足などのある生涯学習施設、体育館、武道館等々であります。こういったものの改修等々について、今まで1という評価であったものが2に上がっています。まだまだ2ということですが、社会体育館だとか藤ヶ丘体育館の耐震工事が始まってこれがほぼ終了になるということも含めて、それと道筋が見えてきたということだと思いますが、文化スポーツ課では2という評価であります。ただ大物が残っていますので実際にはこれからだということだと思いますが、そういう評価をされました。

5ページには13番のところに高齢者の就業・学び・社会参加と健康づくり、介護予防というのがあります。これが2から3という評価になりました。高齢者のフレイル対策もそうですし健康づくりもそうなのですが、そういったところで少し進んだという評価だと思います。特に保健事業と介護予防の一体的な取り組みということが始まりますので、そういった点で3という評価がなされたのだと思います。

次の7ページはそれぞれ評価が上がっています。農政の方であります。農政といっても地域づくりに直接関わるような、1番では農業応援団計画、2番では新規就農だとか定年帰農、3番は旧にこりこり一帯の直売所、4番は6次産業化、農業者だけではなく加工、流通業者を含めた6次産業化というようなところ、それぞれ評価がアップしています。これは具体的に事業が進んできたという評価だと思います。生産者、農家への支援、1番のところでは農業共済の加入支援ができるようになったとか、直売所の自給率が向上しているとか、2番のところでは新規就農が増えてきているとか、3番のところでは具体的に直売所が動き出し始めたとか、4番のところでは、これまで6次産業化は当町においては農業者がほとんどやっていただけななかったのですが、令和2年10月には7件とありますが、シードルとかジャムとかピクルスとかネット販売とかそういった環境整備に6次産業化が進んできたという評価をしたようであります。

次の8ページ、9ページあたりは、ほとんど評価は変わっていません。数字を直しておいていただきたいのですが、9番のもみじ湖のところ、来場者数は昨年31,000人に対して今年期間中41,000人となっています。これは記載時でありまして、最終段階は68,000人ということで申し上げていきたいと思っております。これはもみじのトンネルの入口のカウンターですが、そこで68,000人の来場者があったということです。実際のところを言います

と、末広まで上がるのではなくて竹の尾だとか箕輪ダム堤の所で帰られる方もかなりいらっしやるのもっと多いとは思いますが、そういった数の方に来ていただきました。課題については後ほど申し上げたいと思います。

10 ページは、14 番の飯田線の利活用というところで2から3に上がっています。これは飯田線に関わる町内3 駅の環境整備、木ノ下駅のトイレですとか沢駅の駐車場でありますとか、伊那松島駅のトイレについて JR 東海と今調整していますが、そういったところが進んでいるという評価です。

そのような中で 11 ページの3 番、基本政策からいきますとわかりやすい住民向けの予算説明書の発行とあるのですが、どちらかという財政の見える化をいかに進めるかという課題なのです。そういったところがまだできていません。いろいろな媒体を通じて決算状況については説明はしていますが、まだ私も十分ではないと思いますし、担当課も十分ではないという評価をしているようでありまして、これは具体的な予算説明書もしくは事業説明書というのを作る、住民向けのものを作るということを考えていまして、まだ評価に至っていません。

以上が今回の全体のものでございました。

コロナの問題があって、第3 波ということなのですが、非常に残念なことなのですがコロナとの戦いはまだ長く続く、しかも非常に困難なものだと思っております、町民の皆様が安心できる安全な日常を取り戻すにはいったいどうしたらいいのかと、そちらの方が大きな課題です。もちろんこの町長選挙の際にはコロナもありませんでしたので、全くそれに触れて当然ないわけではありますが、それらを踏まえて振興計画の後期計画を作らなければいけないと思っています。後期計画は今年を作らないということにしました。作ろうと思えば作れるのですが、コロナの行く末が分からないということと、コロナが何をもちあらしアフターコロナもどうしたら良いかという議論が役場の中だけではまずいと思っております、今の段階ではワークショップもできない、地域別の懇談会もできないという状況の中で施策を練り上げるというのは、これはやはり振興計画の作り方としては妥当でないという判断をさせていただいて、少し落ち着いたら行おうと思っておりますが、第3 波となつてとても手がつかないのですが、皆様とお話し合いのできる、議論ができる、提案がされる、そんな状況になった段階で次の5 年間の後期計画を作りながらやっていきたいと思っています。コロナだけではなくて、各自治体とも言えば生き残りをかけてやっていると私自身も思っていますので、とてつもない大きなものがコロナなのですが、初心を忘れることなく、最低でもこの基本政策については町民の皆様に評価されるように、がんばっていききたいと思っています。

今後 come 来年度以降の施策また振興計画については、また別の機会にお話しさせていただきたいと思っておりますし、予算がこれからでありまして骨がまだ定まっていますので、そういった段階で来年度以降のことはお話しさせていただきたいと思っております。

それが基本政策集についてであります。

もう1 点、12 月補正予算については総額4 億2 千6 百万円でありまして、どちらかとい

うと通常の補正という感じですが、いくつかありますのは、1つは旧東部診療所これは関係人口を創出するという意味での工事8千8百万円というのが入っています。休診をして長らく空き家状態であったわけですが、今回のコロナを受けてアフターコロナを意識してワーキングスペースだとか新たな生活スタイルに対応した企業に入っていたきたいと、シェアオフィス、コワーキングスペース等々を作るということで設計が終わります。今後、改修工事に入り来年10月を目処に開業していきたいと思っています。産業支援センターで4者、5者ほど待ちの状態となっていて、そういった業者さんも含めて新たな活動の場を作っていきたいと思っています。もう1つは、発熱外来の実施をしていただく診療機関、検査機関に対する応援交付金を百万円、もう1つは、みのわ宿泊割ですがほぼ満杯になっていて、もう千泊分助成金の増をしたいと思っています。コロナのこととかg o t o トラベルの問題もありますが、予算を確保して予約は受けたいと思っています。ほぼ前回の千泊分は埋まっています、若干課題はありますが予算の確保はしたいと思っています。それと先程もありました小中学校の空調設備について、図書館とか特別教室の一部実施をしていないところがありまして、これは予算上の課題もありできなかったのですが、1億2千万円ほど掛けまして空調設置をしたいと思っています。そんな点で4億2千6百万円の補正予算を12月議会に上程させていただきたいと思っています。その他は通常の補正になっていて、あまり大きなものはありません。第3波がこのような状況で、町民の皆様に対する生活上の課題などがまだまだ見えない部分があって、もう少し補正を掛けなければいけない部分も若干あるような気もしていますが、それはまた状況をもう少し見ながら検討させていただきたいと思っています。

それと先程もみじ湖の来場者数6万8千人と申し上げました。結果的に大変大勢の方に来ていただきまして、また関係の報道機関の皆様にもそれぞれ記事等でご紹介いただきまして、そういった効果が一番だったと思いますが、大勢の方に来ていただきましてありがとうございます。交通課題はもちろんありますが、県道だということもありまして改修も場所的な問題もあり進まないということもあります。そういった中で、6万8千人余の方にお越しをいただいて十分満足してお帰りいただいているかどうかという課題もあると思っています。特に駐車場の問題とか収容コースをどうするかという問題とか売店の問題とか、そういった問題はできるだけ自然のままにしておこうということもあって、今まであまり手を付けてこなかった訳ではありますが、これだけ多くの方に来ていただくようになると、そういったことももう少し考えなければいけないかと思っています。それと大分木が大きくなってきて、老木、枯れている木とまでは言いませんがそういうものも出てきていて、将来的なもみじ湖の楓、もみじの植栽というのをどうするかとか、そういうことも考えていかなければと思っています。これについては予算の中で検討していきたいと思っています。いずれにしても大変多くの方に来ていただきまして、箕輪の魅力を見ていただけて大変ありがとうございます。そういった声に負けないように整備をしなければいけないと思っています。

記者) もみじ湖について伺いたいのですが、前年と比べて来場された方がすごく増えているけれども基本政策9番で評価2と据え置いているのは、大勢来町されたというのが評価の基準ではないということでしょうか。

町長) そうです。

記者) 売店に関してはどういう認識ですか。

町長) 今まで竹の尾の広場のところでお願いしていましたが、ゆっくり休む場所がないとか、少し休みながら食事をしながらとか、飲み物を飲みながらゆっくりする場所がないということがあるということや、少し直売的なところ、例えば町の秋野菜とかそういった販売でもよいのではないかという意見をいくつもいただいています、そういったことがあの場所で行えるかどうか検討したいと思っています。

ただ、下に飲料水に使うダムがあるので、やろうとしてもできない部分もあります。議論はしているところです。

記者) もみじ湖の関係ですが、ダムに入る入り口のところの待避所の設置が冬場から始まると聞いていますが、それはさらに計画的に行っていくのか、一歩進んだということなのか。

町長) 今回2か所の待避所の設置ということで進めています。これは県の企業局が小水力発電所をあそこに作っているというのがあり、その関連工事、作ることに伴う代替工事ではありますが、それを企業局の方で請け負うということで、事業主体はもちろん伊那建設事務所なのですが、経費は企業局が出すという、そういう折衝をお願いしてきたもので、とりあえずは2か所です。

あと伊那建設事務所にはお願いしている箇所がいくつかありますので、今の交通状況を踏まえると少し手を付けなければいけないところがあると思っていますので、順次お願いしていきたいと思います。

待避所を設置することはずっとお願いしてきていて、その財源手当てをどこでするかとか、小水力発電所を作っている企業局に少しお願いしようではないかというそんなイメージがあって、そこでできたということですので、町の要望に基づいて実施をしたということは間違いありません。

記者) 4の3の基本政策、予算の見える化のところ、これまでに様々な媒体を使って説明してきたと思いますが、それがどういう理由で不十分という認識なのかお聞かせいただきたい。

町長) 当初予算を作りますと、当然広報紙の中で予算の構造でありますとか主要事業でありますとかを2、3ページ使って掲載しますし、決算が終われば決算状況についてお示ししています。それはそれで今までもやってきていますし、かなり詳細なものを書いているつもりなのですが、町民の皆様が届いていないのは、町の財政状況がどのような状況にあるのか、例えば実質公債費比率ですとか経常収支



費率でありますとか、そういったものが十分理解できないと思いますし承知をしていないということがあって、個別の事業そのものというよりは町の財政がどのようになっているかというのがなかなか届かないということがあります。

それと個別の事業を、1項目具体的なものを書いただけでは、なかなか全てを説明できるということにはならないので、もう少し事業の課題とか内容とか成果とか、そういうものまで含めたものを書いていかないと、ただやっているだけと見えてしまうので、それをわかっていただくようにもう少し詳細なもの、住民が理解しやすいものが必要と思っています。役所の言葉は難しくてわかりにくいです。特に予算はよくわからないので、それをわかりやすくするようなことをしなければいけないと、自治体によっては行っているところもあるので参考にしながらやっていきたいと思います。意思は皆もっているのですが、そこまでまだわからないということです。令和3年度にはなんとか行いたいと思っています。

記者) 町民の方が町の財政状況を理解するということが、町長としてなぜ必要だと考えるか。必要性をなぜここに掲げられているのかお聞かせいただきたい。

町長) 1つは、平成10年代から20年代という中では、当町の場合はいわゆるハード事業はあまりされていなかったのです。公共施設の耐震化とか改修とかそういうことがされていないので、実は以前に比べるとその辺に手を付けようとしているのです。これはやむを得ない、それこそ住民の生命とか財産にかかわる問題であるので、公共施設であれお金をかけて直していかなければいけないものはやらなければいけないと考えているのです。ただ、やはりハード事業はお金が掛かり、町の財政に対する影響はものすごく大きいです。それによって借金もしなければいけませんし実質公債費比率は上がるということがありますので、とにかく町が今何をせざるを得ないのかということを含めてなのですが、そういったことをお示して、財政状況はこうだけれども、借金はするけれども、やっていくことはやりますと。これは、世代間で均していくという財政の基本ベースをわかってもらわなければいけませんので。例えば、施設を造ると施設ばかり造っていると捉えられやすいのですが、そういうことのないように必要な事業と財政というものを常にリンクしていきたいというのが一番のところ。それと、役所にとって予算というのは生命線であり、職員にとってもそうなのですが、どんな予算を作って事業執行にもっていくかということが、役場の一番大事なことなのです。それは、住民の提案に対して、意見に対してどういう対処をとるかということと、住民の意見をどのように取り入れていくかということを考えても、予算の説明はどうしても必要だと思っていますので、これはさせていただきたいと思います。実は町長への手紙も累計で149件になりました。1つ1つはいろいろな提案もあるのですが、これ位になると町民の皆様の意見のありよう、考え方が出てくるのです。そういったところを予算の中でどのように反映させていくかと、あまりお金のない厳しい中でどのように反映させていくかと考え、それを町民に戻してい

くという意味でも、このようなことは必要だと思っています。

記者) 基本政策1の1のところ、外国人の減少が1月から11月に多かったと思いますが、これはコロナの影響とみてよろしいですか。

町長) コロナの影響もあるのですが、一昨年秋から昨年秋以降の景気の停滞も大きいと思っています。ですが、具体化されたのはやはりコロナになってからです。転出が多くなったのはコロナの影響ではないでしょうか。

わからないところもありますが、これだけの数が急に減少したということはコロナ以外にはないと思っています。

今、何とか、相談会をしたり日本語学習をしたり就職口の案内をしています。数は少ないですが今後成果として上がってきますので、そういったことで行政に対する外国籍町民の皆様の信頼を得られることで、事業者の皆様もそれに応えてくれるのではないかと期待しています。

記者) もっと言うと、コロナの影響でほかの自治体で仕事を見つけたことで転出されたということが高いと見てよろしいか。

町長) はい。

帰国しているというよりも、新たな仕事を探している方が多いと聞いています。

記者) 関連して、その下の常会の加入率が世帯分離によって減少しているという背景には何があるとお考えですか。

町長) 世帯数は増えているのですが、二世帯住宅とか世帯分離する方が非常に多くなりました。その新たな世帯の皆様が、なかなか自治会、常会には加入されないということがあってはならないかということです。トータルでは一昨年の加入者数は6,611戸加入していたものが昨年は6,697戸ですので、若干は増えています。ただ、率からすると下がってしまったということです。これはなんとか増やしていかないといけないと思います。自治会の担い手の問題とか、役員不足の問題とか、行事がありすぎるとか、いろいろな課題がないわけではないのですが、やはり地域コミュニティを維持していく、またはそこで生活をしていく中では、区や常会への加入というのは必要だと思っていますので、方策を講じて区等の協力をいただきながら町としても実施していきたいと思っています。

記者) 基本政策3の8、箕輪工業ビジョンの関係が2のまま評価変わらずですが、この文面に掲げているような生産性の向上、販路拡大といったこの辺の現状というのは、評価は据え置いたけれども厳しさは増しているという状況なのか、進捗状況に記載されているようなところで徐々に上向きつつあるのか、目標に照らしてどういう状況なのかというところを伺いたいと思います。

町長) いくつか要素があると思いますが、1つは新しい企業を受け入れる企業立地

といいますか、そういったものはこの1年間極めて厳しくなりました。相談件数も少なくなってきたりして、新しい企業を受け入れていくところは厳しい状況にあります。世の中的には、コロナによって地方に企業が流れるとか、リモートワークとかワーケーションとか、いろいろなことを言われていますが、なかなか実態はそこまで当町について言えばきていないということですので、これはそれなりのセールスがされていないということでもあるので、そういったことをしていかなければいけないというのが1点。

それと製造品出荷額全体で見ますと、当町ですと大手6社ですが、大手で大体1千5百億円の内の6割なのですが、その大手のところはなかなか厳しい状況にあって、トータルの製造品出荷額が上がっていかないということがあります。これはある意味、かなり実力のある企業ばかりですので時間の経過とともに戻ってくると思っています。中小企業の中での課題は、若手経営者がいてかなり意欲的である一方で、後継者がいない等々で、コロナによって意欲を失ってしまっている企業等も散見されるということで、こういったところに資金手当てをしながら、または新たな受注先を追い求めていくような応援をしていかないと、全体としては厳しいかと思っています。

それと新技術・新製品の開発といったことについても、町村レベルでこういうことをやっているところは少ないのですが、こういったところに挑戦をしていく企業というものを常に応援していかなければいけないと思っています。中でもいくつか新しいものも出てきていますし、新しい仕事を作り出している企業もありますので、町レベルではありますが、そういった応援をしていきたいと思っています。工業ビジョンは動き始めた段階ですので、幅広く一定の支援をしながら続けていきたいと思っています。

一番の問題は、新しい企業が入ってくるような措置が難しいというところです。

記者) コロナの関係ですが、近隣の市町村で感染者が増えています。伊那市は昨日、県と一緒に飲食店へ啓発活動を行いまして、今日、南箕輪村では会議が行われて、飲食店や住民に対しての感染予防の周知を図っていくということでしたが、町として今何か考えていることはありますかのでしょうか。

町長) 現在検討している段階です。現在までに箕輪町での感染者がいないということは良かったと思っていますが、そうは言っても上伊那地域ではこのような状況にありますので、昨日までの県の動きだとか、昨日の県知事会見の状況とか、これから注意しなければいけないことも県が発表していますので、それらを改めて感染予防対策として町民の皆様にお知らせする必要があると思っています。

一両日中に何らかのことはしたいと思っています。検討しています。

記者) 成人式について、近隣で再延長を決めたところもありますが、町長としての考

えをお聞かせください。

町長) できれば実施したいと思っています。

対象者が1月に帰ってこれないのではという問題もあるので、その辺が問題だと思っています。確かに8月まで先送りするということもあるが、1年先送りにした時の対象者の気持ちを考えると何とかこの冬に実施したいというのが本音です。ただ、出席率が相当悪くなるということは想定されるので、場合によっては延期ということもあるかとは思っています。隣町の場合も2日に分けてやるとかいう状況になるのかと思いますが、そのぐらいになるとやっていただかなくてもという感じになってしまうのではとも思います。

今回は非常に簡素の内容になっています。来賓もほとんどいない、歌とかそういうものも自分では歌わない、恩師の皆様にお会いするそういうレベルなのだと思います。ですので何とかしてあげたいと思っています。

これも決めるのは彼らですので、状況はお知らせをして、実行委員の皆様がどこかの段階で集まることになると思います。

## 定例記者懇談会次第

令和2年11月25日（水） 午前11時00分  
箕輪町役場 203会議室

1 開会

2 町長月間予定

3 町の主なトピックス

・箕輪町成人式について（文化スポーツ課 生涯学習係）

・「みんなで歩こう！箕輪町ウォーキンググランプリ」の結果について

（健康推進課 健康づくり支援係）

4 町長コメント

5 質疑

次回開催日程 12月25日（金）午前11時00分 203会議室

## 箕輪町長 当面の予定

			内 容	場 所	備 考
12月1日	火	13:00	取材	町長応接室	広報誌新年号
12月2日	水	9:00	庁議	講堂	
		13:30	伊那中央行政組合理事者会	いなっせ	
		14:00	広域連合正副連合長会		
12月3日	木	9:00	一般質問打合せ	町長室	
		16:30	来訪	町長応接室	
12月4日	金	9:00	一般質問打合せ	町長室	
		15:00	連絡事務囑託員長会	大会議室	
12月5日	土				
12月6日	日	12:30	(中止)上古田区区民の集い	上古田公民館	
12月7日	月	9:00	町議会12月定例会一般質問	議場	
12月8日	火	9:00	町議会12月定例会一般質問	議場	
12月9日	水	10:00	取材	町長室	新聞新年号
12月10日	木	10:00	松本山雅挨拶来訪	町長応接室	
12月11日	金				
12月12日	土		イケサンパークマルシェ	豊島区	
12月13日	日				
12月14日	月	9:20	ながたの湯周年祭	ながたの湯	
		13:30	町議会12月定例会最終日	議場	
12月15日	火	7:00	年末交通安全人波作戦	イオン前バイパス	
		9:00	予算ヒアリング	町長室	
12月16日	水	9:00	予算ヒアリング	町長室	
		11:00	来訪	町長応接室	伊那JC挨拶
12月17日	木	11:00	来訪	町長応接室	労協ながの挨拶
		14:00	上伊那森林組合理事会		
12月18日	金				
12月19日	土				
12月20日	日	13:30	みのわに生まれる合唱の輪クリスマスコンサート	文化センター	
12月21日	月	9:00	予算ヒアリング	町長室	
12月22日	火	9:00	予算ヒアリング	町長室	
		13:30	伊那中央行政組合議会	伊那市役所議場	
12月23日	水	9:00	予算ヒアリング	町長室	
		11:30	もみじチャンネル収録	203	
12月24日	木	9:00	予算ヒアリング	町長室	
		17:00	みのわ振興公社取締役会	ながた荘	
12月25日	金	9:00	予算ヒアリング	町長室	
12月26日	土				
12月27日	日				
12月28日	月				
12月29日	火		年末年始休業		
12月30日	水				
12月31日	木				

## 令和2年12月行事予定表

日付	曜日	時間	内容	場所	担当課	問い合わせ先
1日	火					
2日	水					
3日	木	10:00～10:50	再就職応援セミナー 就活懇談会	オンライン	企画振興課	内233
4日	金	13:30～	連絡事務嘱託員長会	役場	総務課	内106
5日	土	13:00～15:00	古田人形芝居伝承技能発表会	文化センターホール	文化スポーツ課	70-6602
		13:00～15:00	松本山雅FCサッカー教室inみのわ③ (対象:中1.2年)	ながたドーム	文化スポーツ課	70-6601
6日	日					
7日	月					
8日	火	10:00～11:30	ふきはら大学:ギターに合わせて歌いましょう	文化センター	町公民館	79-2178
		10:00～12:00	女性の起業セミナー④	産業支援センター	企画振興課	内233
9日	水					
10日	木	10:00～10:50	再就職応援セミナー マネープランセミナー 税金の壁編	オンライン	企画振興課	内233
11日	金	10:00～10:50	再就職応援セミナー マネープランセミナー 年金のお話編	オンライン	企画振興課	内233
		10:10～11:30	ふれ愛あそび	文化センター	子ども未来課	71-1560
		14:00～16:00	おやじ学級:しめ縄作り	文化センター	町公民館	79-2178
12日	土	10:00～16:00	IKE-SUN PARK Farmers Market 出店	豊島区	みのわの魅力発信室	内235
13日	日	—————	(65)ホール自主事業→延期R3/4/24へ延期	文化センターホール	文化スポーツ課	70-6602
14日	月					
15日	火	10:00～12:00	けやき学級:クラフトテープで小物作り	文化センター	町公民館	79-2178
16日	水	9:30～12:30	ふきはら大学院:長寿食信州の粉もん料理	保健センター	町公民館	79-2178
17日	木					
18日	金					
19日	土		三館連携 子ども冬まつり	文化・交流センター	公民館・図書館 ・博物館	79-2178
20日	日		クリスマスコンサート	文化センター	みのわ芸術文化協会	
21日	月					
22日	火					
23日	水	9:00～11:25	鶴亀講座	交流センター	国保医療係	内136
24日	木	14:00～14:30	ふれ愛あそび	子育て支援センター 「いろはぼけっと」	子ども未来課	71-1560
		19:00～21:00	なでしこ学級:ギターに合わせて歌いましょう	文化センター	町公民館	79-2178
25日	金					
26日	土					
27日	日					

## 令和2年12月行事予定表

日付	曜日	時間	内容	場所	担当課	問い合わせ先
28日	月					
29日	火					
30日	水					
31日	木					



## 令和2年度 箕輪町成人式について

文化スポーツ課 生涯学習係

例年のおり該当者による実行委員会を9月4日に立ち上げ、実行委員とともに今年も開催します。

これまでに、4回実行委員会を開き、登内フランク実行委員長のもと、コロナ対策を主として、検討を重ねてきました。

- 1 日時：令和3年1月3日（日）（当初：令和2年8月15日を予定）
- 2 会場：箕輪町文化センター ホール
- 3 対象者：304人（男157人、女147人） R2.11.11 現在  
平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの町内在住及び出身者
- 4 スケジュール  
受付：午後0時45分～午後1時05分（1・2・3・4組）  
午後1時05分～午後1時30分（5・6・7・8・在住者・転校者）  
開式：午後1時30分～  
式典終了後、記念撮影を予定
- 5 コロナ対策
  - ・マスク着用・手指消毒等の呼び掛け  
案内状に記載し、周知を図る、当日は換気をする
  - ・受付時間の分散  
参列者を2グループに分け、受付での密を避ける
  - ・密を避ける工夫  
座席間を空けて座る
  - ・祝賀会は行わない  
全国の感染状況を鑑み、立食式パーティーは行わない
  - ・来賓の縮小  
例年多くの来賓を呼んでいたが、恩師等限られた方のみとする
  - ・式典内容の見直し  
箕輪町の歌斉唱していたが、音声を流すのみとする
  - ・記念写真の工夫  
2クラスごと撮影（昨年は4クラス程度ごと） 等

令和2年11月25日

記者懇談会資料

みんなで歩こう！箕輪町ウォーキンググランプリ結果について

1. イベント期間：令和2年10月12日から令和2年11月10日（30日間）
2. エントリー状況：個人エントリー 122人  
グループエントリー 34グループ 462人  
合計 584人
3. 参加状況：520人（男性244人、女性276人）、33グループ
  - (1) 最少年齢 11歳、最高年齢85歳
  - (2) 年代別参加者

年代	人数	比率
10代	10	1.9%
20代	61	11.7%
30代	83	16.0%
40代	143	27.5%
50代	115	22.1%
60代	85	16.3%
70代	22	4.2%
80代	1	0.2%

(3) 参加者総歩数

149,598,087 歩（平均 9,628 歩）

1 歩を 70cm とすると 104718.66km となり、地球 2.6 周したことになります。

(4) 年代別平均歩数

年代別平均歩数		年代別平均歩数(男性)		年代別平均歩数(女性)	
年代	平均歩数	年代	平均歩数	年代	平均歩数
10代	7,363	10代	13,407	10代	4,773
20代	7,134	20代	9,779	20代	5,169
30代	7,317	30代	7,851	30代	6,757
40代	8,928	40代	10,591	40代	7,399
50代	10,311	50代	11,674	50代	9,062
60代	12,646	60代	16,070	60代	10,131
70代	15,345	70代	20,217	70代	9,499
80代	17,236	80代	17,236	全体	7,877
全体	9,628	全体	11,609		

#### 4. ランキング最終結果

##### (1) 個人ランキング

順位	ニックネーム	累計歩数
1位	しゃも (活動量計)	1,835,939 歩
2位	活動量計17	1,651,271 歩
3位	となりのトトロ	1,624,161 歩
4位	中村政義	1,618,843 歩
5位	池口曜子	1,565,764 歩
6位	寵門禰豆子	1,523,620 歩
7位	c p t	1,296,562 歩
8位	活動量計33	1,077,182 歩
9位	メイ	1,061,798 歩
10位	理モータース	1,000,611 歩

##### (2) グループランキング

###### グループ部門

順位	チーム名	平均歩数
1位	オフィス 池口曜子	42,772 歩
2位	チーム小林	19,747 歩
3位	TEAM 通り1	18,249 歩

###### 企業部門

順位	チーム名	平均歩数
1位	赤羽鉄工株式会社	16,584 歩
2位	株式会社マコメ研究所	16,066 歩
3位	株式会社伸光製作所	15,943 歩

#### 5. 結果報告

##### (1) 内容

ニックネームでの参加のため上位者には、本人の意向を確認しながら担当課にてインタビューを実施。その後担当課でまとめたものを発表。

年齢、性別、職業等個人の背景がわかる程度の情報は、掲載するよう依頼する予定。取組の状況や継続のコツ等

##### (2) 報告方法

参加者には、結果報告書を作成し、メールや郵便等で参加者に周知。

広報やプレスリリースによる発表。

#### 6. 表彰

個人10位までは景品を送付

グループ参加企業については、表彰状授与とみのわ新聞 PR。グループ参加者については表彰状授与。

平均8000歩以上歩いた方へは抽選で協賛事業所からの協賛品を贈呈。

#### 7. 協賛事業所

No	事業所(団体)名
1	赤羽鉄工株式会社
2	天竜健康ウォーク実行委員会
3	有限会社井口モータース
4	第一生命保険(株)伊北営業オフィス
5	ニチノウ食品 株式会社
6	箕輪町町内郵便局(箕輪・東箕輪・木下)
7	有限会社 笑栄システム
8	アルプス中央信用金庫 箕輪支店 アルプス中央信用金庫 いほく支店
9	養命酒製造株式会社 商品開発センター
10	旭松食品株式会社 伊那工場
11	株式会社 カネカ
12	ちとせや薬局
13	(有)油屋商店
14	Farmer's Kitchen 雪・月・花
15	上伊那農業協同組合箕輪町支所
16	めがね・補聴器 くまや
17	若林酒店
18	(有)金星製菓舗
19	長野県信用組合 箕輪支店

#### 8. 事業評価

参加者の年齢からみると、40代、50代で約5割となり、健康ポイント事業と比較しても働き盛り世代の方に多く参加していただいた。事業所に対してグループ参加の案内をしたこと、スマートフォンを使ってのランキング形式のイベントだったことによる効果と考える。

参加者の平均歩数が9,628歩、グループ33チーム中20チームが平均8,000歩以上であり、ランキング形式、グループでの参加という状況の中で日常よりも歩数が増加したのではないかと推測される。事業所の参加者からは、「みんなで声を掛け合って歩いた」「頑張っている人に引っ張られる形で歩いた」といった感想があった。そういった感想をお話いただく時の様子からイベントを楽しんでいた様子だった。

健康づくりのためのウォーキングは、人と比較したり、競争するものではないが、イベントとして、楽しく参加することでウォーキングのきっかけとなればと考える。

## 町長2期目基本政策集進捗状況(令和2年11月)

私は、平成30年11月の箕輪町長選挙において基本政策集を掲げ、町民の皆様から信任いただき、この基本政策の実現に向けて、全力で取り組んでまいりました。  
基本政策集には、5つの基本方針に基づき、48の項目を掲げております。

### 5つの基本的な姿勢

- 1 あらゆる政策を総動員し、人口減少時代に挑戦。
- 2 人も仕事もワンランクアップ。
- 3 現場と成果を重視し、顧客満足度の向上へ
- 4 誰にも居場所やチャンスのある社会へ。
- 5 町民の健康と安全安心が最優先。

今回の報告では、48の項目を実現するために実施している事業の進捗状況を取りまとめ、令和2年11月現在で自己評価いたしました。

### 【基本政策評価基準】

〈評価区分〉	〈実施の進捗状況〉	項目数	(うち重点分野)
4	実施済みまたは具体的な成果が表れているもの	5 (3)	3
3	取組み中で進捗度合いが高いもの	14 (11)	2
2	取組み中	28 (30)	5
1	未実施	1 (4)	0

( )内 前年数

11月現在、重点分野とした「安全安心パトロール」、「健康づくり推進条例の制定」、「学力向上施策」の3項目、「フッ素洗口の導入」「保育・学習環境の改善」が達成済みとなっています。その他の項目についても、関係機関との協議や制度の検討などを計画に進めているところであり、進捗度合いが高いものが14項目となっています。

今後のさらなる力強い箕輪町、豊かさや幸せを実感できる箕輪町の創造のため、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年11月

箕輪町長 白鳥 政徳

# 1 人口減少社会への挑戦 ～安全安心が最優先～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分 野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
1	少子・高齢化の状況に的確に対応するため、各政策を総動員し人口減少に立ち向かいます。また、人口減少社会に即した地域づくりを行います。		3	2	第5次振興計画ならびにまち・ひと・しごと総合戦略で掲げた目標達成に向け施策を展開。新型コロナ感染拡大前までは25,000人以上の人口を維持していたが、新型コロナの影響により、人口減少が進んでいる。(R2.10.1現在:人口24,955人、チャレンジ目標比+64人)	企画振興課まちづくり政策係
2	町と地域の協働を進め、地域でお互いに見えるコミュニティや支援の輪をつくりまします。区や常会の活動の役割を再確認し、区や常会への加入を促進します。また、地域活動に必要な名簿などの取り扱いに関するルールを作ります。		2	2	R2.3に地域コミュニティ活性化委員会による地域コミュニティ活性化に向けた提言を取りまとめ。地域総合活性化事業交付金において、特に地域活性化に資する取組みに重点枠を設け支援。(案内看板の統一)	企画振興課まちづくり政策係 総務課総務係
3	災害や火災などに対応する地域防災力を強化します。特に、多様な人材の活用を進め消防団の充実を図るほか、防災士、自主防災組織に対する支援を行います。また、消防団の行事や活動内容の合理化を行い、団員の負担軽減を図ります。		3	3	機能別消防団員を24名任命し体制整備済み。各区の自主防災組織へ新型コロナウイルス感染症対策として、補助金を上乗せして支援を実施。(沢、大出、松島、木下は20万円、その他の区は10万円) 防災士の新規取得は3名。	総務課防災SC室
4	専任職員が町内を車で安全安心パトロールを行い、治安の向上(防犯)、交通安全、道路などの安全管理に取組みます。	②	4	4	令和2年10月で活動開始から1年が経過。230日以上で約1,550時間の活動。小学校の交通安全教室・各区での講習10回 不審者等のパトロール13件 標識の補修・不備報告54件、看板等の修繕237件 など	総務課防災SC室
5	ハザードマップの整備と周知、水位計、監視カメラの設置等ソフト対策を充実します。また、防災倉庫の整備、必要な備蓄品の保管管理を進めます。		2	2	R1整備済みのハザードマップをR2にスマートフォン等で閲覧可能に設定済み。危機管理型水位計を県が今年度3ヶ所設置。新型コロナウイルス対策として避難所に必要なパーティション200基を購入手続き済み。	総務課防災SC室
6	日常生活のさらなる安全安心に向けて、防犯街灯の増設、夜光反射材・タスキの着用の推進、感震ブレーカーの設置、防犯カメラの設置、支え合いマップの作成などを進めます。		3	3	各区要望分35ヶ所、町計画分95ヶ所に防犯外灯設置。みのわ天竜公園に防犯カメラ1台設置。役場、文化センター、地域交流センター、各区公民館に貸出用の夜光反射タスキ及びスタンドを設置、定期的な補充を継続中。感震ブレーカーの設置啓発チラシ配布。	総務課防災SC室 福祉課
7	高齢化などにより、公共交通がなく買い物や通院が困難な町民が増加していることから、交通安全対策、福祉施策など総合的な観点で支援策を講じます。		2	2	買い物弱者対策として、R2.3に㈱ニシザワにより移動販売車「とくし丸」の運行が開始され、約160人が利用 R2.8から公共交通会議を開催し、総合的な視点で交通弱者対策について検討し、次年度以降公共交通体系の変更などを具体化する予定	企画振興課まちづくり政策係

# 1 人口減少社会への挑戦 ～安全安心が最優先～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点10分野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
8	移住相談会への積極的参加、町の情報の発信、移住定住アドバイザーの増員、住宅や仕事、生活相談などをきめ細やかに、移住定住を促進します。新たに、「U・Iターン応援プロジェクト」を立ち上げ、若者・女性・子育て世代のU・Iターンを促進します。特に、女性の就職、転職に関わる経済的支援を行います。また、移住者の皆さんが移住後も安心して暮らすためサポート・フォロー体制を整備します。	①	2	2	<p>移住定住の促進に向け、各種支援のメニューを設け事業を推進 R2年4月～R2年10月実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談会参加 9回(オンラインにて実施 参加148組)</li> <li>※内1件は、町にて単独実施(参加20組)</li> <li>・田舎ぐらし体験住宅 利用件数 5件(9人)</li> <li>※4月～6月、8月～9月受け入れ休止</li> <li>・空き家関係相談件数 82件</li> <li>・空き家バンク登録件数 116件</li> <li>・若者世帯定住支援奨励金 62件 35,900千円</li> <li>・空き家に係る補助金 11件 2,700千円</li> <li>・移住者数 33人(町関与分)</li> </ul> <p>広報、SNS等を利用したの情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍コーディネーターを1人配置</li> <li>・女性の就業相談窓口を開設:119人相談、23人就職</li> <li>・女性のための再就職応援セミナー:4回開催 78人参加</li> <li>・女性の起業セミナー:4回開催 29人参加</li> </ul>	企画振興課 みのわの魅力発信室
9	リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、整備効果を最大限に生かす地域づくりを行います。二地域居住などの新たなライフスタイルや通勤スタイルの変化に対応できる地域づくりを目指します。	⑨	1	2	<p>コロナ禍での新たな人の流れがみられる中で、これまでの移住定住施策の推進に加え、関係人口の創出拡大に向け、関係人口創出施設の整備、SNSによる情報発信の強化を展開</p> <p>リニア中央新幹線建設促進長野県協議会や三遠南信地域連携ビジョン推進会議などの広域的な枠組みでの連携により、移住定住策の推進、交通ネットワークの構築、交流人口の拡大などの取組みを進めている</p>	企画振興課まちづくり政策係
10	みのわファンクラブなどを通じて、将来にわたる箕輪町とのつながり人口、関係人口を増やします。		2	2	<p>みのわファンクラブ会員数(R2年11月1日現在) 町内会員53人、町外会員119人、アプリ会員680件 会員も順調に増えており、ニュース配信等により情報提供。</p> <p>郵便局との包括連携協定を締結し、郵便物に貼るQRコード付きの町紹介PRシールを作成し、郵便局窓口と役場窓口で提供。</p> <p>関係人口創出拡大事業業務を委託し、インスタグラムを新規開設。現在フォロワー数268人、#をつけて町に繋がっている。</p> <p>つながる拠点施設として「夢まちスペース」が開設され、中高生をはじめ一般の方も利用でき多世代が繋がれる環境を整備。</p> <p>「つながり人口拡大コーディネータ」としてR2年4月から地域おこし協力隊が着任。町内の魅力ある人、コト、モノをつなげ、町内外へ情報発信。</p> <p>旧東部診療所を活用し、サテライトオフィス開設やリモートワーク等を推進し都市部と箕輪町(地域)を結びつける関係人口創出施設の設置に向けて、10月に実施設計業務に着手。</p>	企画振興課みのわの魅力発信室

## 2 希望を持てる町へI ～子育て、教育から生き生きシニア、そして介護～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度が高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
1	安心して妊娠、出産、子育てのできる環境づくりを行い、合計特殊出生率を引き上げます。出産や子育てに関する不安や孤立を解消するため、産科医師、助産師、小児科医師の確保に努めます。		3	3	町内全保育園で未満児保育、長時間保育を実施。上伊那生協病院、伊那中央病院敷地内で病児保育を行い、就労する保護者の支援。 令和元年10月からは、幼児教育保育の無償化により、3歳以上児の保育料を、未満児の低所得者世帯の保育料減免を拡大。また、3歳以上児の給食副食費(おかず)を国の基準額4,500円から町独自の支援として3,000円に減額。 保育環境の整備として、令和元年度に「保育支援システム」を導入し、保護者への情報提供、保育の効率化に活用。 地域子育て支援拠点として、子育て支援センターを開設し、未就園児の親子の遊び場、情報共有の場として利用いただいている。 こども相談室では、専門の職員が子育てに関する相談に応じ、関係機関と連携しながら保護者に寄り添った支援を行っている。  箕輪町出産子育てに係る医療施設等整備補助金交付規則制定(産科、助産所、小児科対象) H31小児科医1件開業	子ども未来課子育て支援係  健康推進課健康づくり支援係
2	現在新築計画を進めている木下統合保育園について、平成34年度中の開園に向けて取り組みます。その他の保育園の環境整備(長寿命化)を計画的に実施します。保育の質の充実に努め、好奇心を育む「わくわく保育」を実施します。また、各園の特徴を生かした保育に努めます。	③	2	2	本年3月から保育園用地造成工事を実施。8月から地中熱設備工事に着手し、熱交換のための掘削が10月末までに完了。現在、地中熱機械室を建設中。今後は12月から約1年をかけて本体工事を行う予定。 既存保育園の環境整備は随時行っており、昨年9月から本年3月に三日町保育園の園舎長寿命化工事(屋根・外壁等の修繕)を実施。  保育園では、子どもたちの「見たい！ やりたい！ 知りたい！」の好奇心と創造力をはぐくむための「みのわっ子チャレンジ事業」として、「運動あそび」や「食育活動」に取り組んでいる。 県が認定する信州型自然保育「信州やまほいく」にこれまでの3園に加え、三日町保育園が認定を受け、地域の恵まれた自然を生かした保育を実施。	子ども未来課保育園施設係  子ども未来課子育て支援係
3	子どもたちが社会でたくましく生きていくための学力、体力を身につけます。特に、児童生徒の学習意欲を高め学力課題に対応するため、学習サポート、教員の指導力向上など、学力向上のための施策に取り組み、成果の確認できるシステムをつくります。	④	3	4	・児童生徒の自己課題の把握や、教師の授業改善の指標となることを目的として、町独自でCRT・NRTの標準学力検査を継続実施し、その結果分析と家庭への啓発を図った。 ・教師の指導力向上を目的として、町教委主催の指導力アップ研修を実施。小中連携での「自学ノート」への取り組みを、さらに充実していく。 ・1人1台PCや大型提示装置等のICT教育機器を充実し、分かり易く、児童生徒が意欲を持って取り組める環境を整備。	学校教育課教育総務係
4	ふるさと学習「箕輪学」やキャリア教育を推進し、地域や社会を学ぶ機会を増やすとともに郷土愛を育みます。		3	3	・箕輪学は、学校・学級の結束力や雰囲気を作る取り組みとして浸透している中、中学生向けの資料集「はじめよう！ふるさと箕輪学」を地域研究の教材に使用するなど活用が図られている。 ・キャリア教育フォーラムでは、中学2年生全員参加型として、オンラインを活用した賛同企業とのディスカッションを実施。職場体験を通じて感じたことや、故郷で働くことについて考え合う場となった。  資料集「はじめよう！ふるさと箕輪学」を毎年、新1年生に配布。学校における箕輪学の取り組みは、キャリア教育や箕輪進修高校の進修学に協力し、郷土箕輪について紹介。	学校教育課教育総務係  文化スポーツ課文化財係



## 2 希望を持てる町へI ～子育て、教育から生き生きシニア、そして介護～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度が高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分 野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
5	保育園、小中学校に冷房設備を設置し、保育、学習環境を改善します。また、学童保育にかかる受入れ環境の整備を進めます。		3	4	<p>昨年8月までに上古田・東みのわ・長田・木下北・木下南保育園に空調設備(エアコン)を設置し、町内すべて保育園の保育室に空調設備が完備され保育環境が改善。</p> <p>全ての普通教室に設置済み。図書館や理科室等への設置を進めている。(R2年度に補助金を活用し実施予定)。学童クラブは、西部教室(ふれあいサロン)へエアコンを設置し、受入れ環境を整えることができた。継続して学童運営環境の整備を進めていく。</p>	<p>子ども未来課保育園施設係</p> <p>学校教育課教育総務係</p>
6	スポーツや運動を通じて健康増進や健康寿命延伸につながる取り組みを推進します。「見る」、「支える」、「交流する」など、スポーツとの新たな関わり方、楽しみ方を広げていきます。		3	3	<p>百歳体操20団体 393人の登録</p> <p>・健康アカデミー事業は、R元年度15期生44名修了。R2年度はコロナの影響で中止したが、予定者に対してアカデミー通信を発行し、文書による健康教育を実施中。 ・トレーナーによる運動プログラム継続。 利用者数 R元年度73人、R2年度22人。 ・感染症対策を講じながら、各げんきセンターの一般開放実施。在勤者も可とし、南部については夜土日の利用も可として働き盛りの健康づくりを支援。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、事業未実施。感染症対策に配慮し事業実施。(人数・回数限定など) 脳トレらくらく体操教室、ヨガ教室【10月】 松本山雅FCと連携した少年サッカー教室【11月・12月】 上古田スケート場の開場【R3/1月】</p>	<p>福祉課高齢者福祉係</p> <p>健康推進課健康づくり支援係</p> <p>文化スポーツ課公民館・スポーツ振興係</p>
7	老朽化、狭隘、耐震性不足などのある生涯学習施設(体育館、武道館、郷土博物館、図書館)の改修、建て替えを計画的に進めます。		1	2	<p>・文化センター及び地域交流センターの長寿寿命個別計画を策定し、施設及び設備の改修等計画に基づいた事業展開の足掛かりが進められた。</p> <p>・藤が丘体育館と社会体育館の吊り天井等耐震工事を施工中</p> <p>・町民体育館及び武道館の耐震改修及び機能強化【令和4年度以降で設計、その後工事実施見込み】</p> <p>・2028長野国体フェンシング競技会場の基準状況により社会体育館を中心に改修等検討。</p> <p>・郷土博物館の耐震改修工事に向け、所蔵資料等の一時保管所にもなる、西部中処理場の改修工事の設計委託を実施。</p> <p>・新図書館建設に活かすため、図書館協議会で県内図書館視察を実施。引き続き、建設基金の積立を行っている。令和元年度末266,182千円(元年度積立:27千円)</p>	<p>文化スポーツ課生涯学習係</p> <p>文化スポーツ課スポーツ振興係</p> <p>文化スポーツ課文化財係</p> <p>文化スポーツ課図書館係</p>
8	町、地域、団体、企業などが一体となって健康づくりに取り組み、「健康長寿の町箕輪」を実現するため、「箕輪町健康づくり推進条例」を制定します。また、健康被害を避け、健康づくりを一層推進するため、「箕輪町受動喫煙防止条例」を制定します。	⑤	4	4	<p>受動喫煙防止条例制定済</p> <p>箕輪町健康づくり推進条例制定済 箕輪町健康づくり推進協議会設置条例制定済(町内関係機関の協働による健康づくりの推進) R2.8月健康づくり推進条例ダイジェスト版作成、全戸配布。条例制定記念事業として健康トライアル、ウォーキンググランプリを実施。</p>	健康推進課健康づくり支援係

## 2 希望を持てる町へI ～子育て、教育から生き生きシニア、そして介護～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分 野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
9	健康寿命延伸のため、血管年齢計など健康測定器を導入するほか、健康ポイント事業など健康無関心層に対する健康づくり運動を展開します。		3	3	血管年齢測定器導入、企業やイベント等への貸し出し。健康ポイント事業の継続実施。参加者数R元年度968人、R2年度現時点891人。R元年度ポイント達成者41.6%。アプリによるウォーキングイベントの開催、町内企業への参加よびかけ実施。16事業所参加。	健康推進課健康づくり支援係
10	生活習慣病の重症化の防止、がん検診の受診率アップとフォロー体制を充実します。		2	2	国保特定健診の実施。特定健診受診率R元年度52.4% (5.6%増) 胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん検診を実施。R元年度受診率平均0.6%上昇。	健康推進課健康づくり支援係
11	歯科保健指導を充実し、乳幼児期から学童期のう歯保有率を減少させます。また、フッ素洗口の導入に向け検討します。		4	4	フッ化物洗口全園にて実施(R元年より6園増)。小学校1校実施。実施小学校増加に向けて調整中。2歳児健診でフッ素塗布開始 町内全保育園児と保護者に歯保健指導実施中。 う歯保有率1.6歳(H30年度1.6、R元年度2.8)、3歳(H30年度16.7、R元年度8.5) 中学(H30年度52.9、R1年度50.7)	子ども未来課子育て支援係
						健康推進課健康づくり支援係
						学校教育課教育総務係
12	高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるよう地域包括ケアシステムの構築を進めます。また、地域が一体となった認知症施策を推進します。	⑥	2	2	地域により進捗の違いはあるが、継続して推進中。	福祉課高齢者福祉係
13	高齢者の就業・学び・社会参加と健康づくり(介護予防を含む)を総合的に推進します。		2	3	いきいき百歳体操20団体、サロン40か所  高齢者フレイル対策として健診後に低栄養防止、口腔機能低下防止の向けて保健指導を実施。人間ドックへの補助。 歯科ドックの対象に70歳を追加。 75歳時に鶴亀講座開講。歯科保健、栄養、運動について衛生教育を実施。 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業をR3年度実施に向け準備中。  生涯学習・スポーツの各種活動団体の紹介や、公民館活動の情報等を網羅した「生涯学習だより」を発行し、全戸配布。  ・元気はつらつ出前講座 2分館2講座実施済み、12月以降4講座予約有り実施予定  コロナウイルス感染症予防等配慮して実施 ・各大学学級(計5)計119名の受講生により実施中 ・各種講座 予定全9講座中5講座実施済み(計83参加)	福祉課
						健康推進課
						文化スポーツ課
14	小規模多機能型居住介護など切れ目のないサービス提供体制を整備します。		2	2	R3年3月に看護小規模多機能施設が完成予定。	福祉課社会福祉係
15	障がい者(児)と家族が地域で安心して暮らすことができる社会をつくります。特に、障がい者の日中活動の場(居場所)、生活の場(グループホーム等)の設置について、広域連携、事業主体の検討など具体化に向けて取り組みます。		2	2	みのわ〜れ、みのあ〜るを運営。障がい者のグループホームの誘致に向けて具体的に進めている。	福祉課障がい福祉係

## 2 希望を持てる町へ！ ～子育て、教育から生き生きシニア、そして介護～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
16	フレッシュな若者・女性・転入した新住民が、やりがいを持って活躍しやすい環境づくりを進め、町を元気にします。女性の町各種審議会委員や地域の役員などに参画しやすい環境づくりを行います。住民と行政が協働して「女性活躍推進アクションプラン」を着実に実行します。また、次代を担う若者が学校や職場だけではなく、行政、地域活動の場で活躍する環境を整えます。		2	2	<p>女性がやりがいをみつける機会を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業セミナー4回 29人、就職、再就職セミナー4回 78人、</li> <li>・町内女性有志の実行委員会実施イベントを後援</li> <li>・女性の就業相談 119人利用、23人就職</li> </ul> <p>女性活躍アクションプランに基づき、女性の起業、就業等を支援するための男性の家事育児参画を促進する取組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業経営者を対象としたセミナー（イクボスセミナー）の開催</li> <li>・イクメンフォトコンテスト開催</li> <li>・広報誌へ四半期に1回イクメンを紹介</li> </ul> <p>女性活躍推進のための企業を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の働きやすい環境づくり補助金 5社利用</li> </ul> <p>インターネットを使用した新しい働き方「クラウドソーシング」を推進 60人登録</p> <p>女性の町各種審議会委員や地域の役員などに参画するための課題等について、女性活躍井戸端会議と区長会との意見交換会、子育てサークルとの意見交換会実施</p> <p>若者が地域活動へ参加する機会を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箕輪進修高校・木下区と連携協力、ボランティア部とともに居場所づくりを検討。カフェフジヤ立上げに参加。</li> </ul>	企画振興課 若者・女性活躍推進係

### 3 希望を持てる町へⅡ ～産業のある町、快適な暮らしのある町～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分 野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
1	「箕輪町農業応援団計画」に基づき、農地が農地として使われ続ける環境を維持するため、生産者・農家への支援とともに消費者・多様な主体が農業に関わる施策に取り組めます。特に、地産地消を進めるため、直売所の充実、消費者に対するPRを行います。併せて、町内産の栽培、保存、購入などの体制づくりを行い、学校、保育園の給食における地域自給率を引き上げます。また、農ある暮らしを町民にとって身近なものとし、農の魅力で交流、移住人口を増やします。	⑦	2	3	<p>○生産者・農家への支援 担い手に対する農業機械等の導入支援、新規就農者に対する住居費支援、農業収入減少リスクに備えるための農業共済加入支援、台風による農業施設被害の再建に対する利子補給支援などを実施。</p> <p>○多様な主体が農業に関わる施策 町民菜園の区画を拡大、コロナ下においても、地元でできる楽しみ・健康づくりの手段として家庭菜園を楽しめるよう、動画配信を実施。 外出自粛環境での自宅ですべての子供の楽しみとして、ミニトマト栽培キットを配布。</p> <p>○直売所の充実・地域自給率向上 供給の核となる町の直売所が工事に入り、地産地消をPRできない中で、朝市の開催(3回)や、夏書の果樹の直売会(9回)など地産地消イベントを開催。</p> <p>○農の魅力で交流・移住人口を増やす施策 みそ部は郡内からの参加者との交流を通じて、町の魅力をPR。</p>	産業振興課未来農戦略係 農業振興係 農業委員会
2	新規就農、定年帰農者に対する支援を充実するとともに、親子就農などの農業後継者、担い手に対する支援を行います。		2	3	<p>新規就農者は、4経営体5人⇒6経営体7人に増加。 町独自の新規就農者住居費補助金(町外から移住した就農者が対象)は4人の農業者に対して交付しており、移住・定住促進に寄与。 令和元年度から施行の農業機械等導入補助金は、令和元年度:10経営体 令和2年度(11月時点):3経営体へ交付。町の中心経営体となる担い手へ支援を実施。</p>	産業振興課農業振興係
3	「にこりこー帯にぎわい会議」の提言、JA長野開発機構の活性化に対する提案等をふまえ、にこりこー帯にリニューアルを進めます。リニューアルに当たっては、「町民が行きたくなる」、「箕輪町の農の価値を伝える」施設とし、適切に運営をしていきます。		2	3	<p>たべりこを昨年10月、にこりこを2月末で閉店し、令和2年4月より「みのわテラス」としてリニューアル工事がスタート。</p> <p>3月にはレストラン「やまびこテラス」がオープンし、町内の野菜・牛肉を主に使用したメニューを提供</p> <p>みのわテラス全体は12月に農産物直売所、交流施設に新しい指定管理者を得て、来年4月にリニューアルオープンし、「農」を核とした魅力発信による、町民の行きたくなる場所として運営予定。</p>	産業振興課未来農戦略係
4	農業者だけでなく、加工、流通業者を含めた関係者との連携やマッチングにより6次産業化の推進に取り組めます。		1	3	<p>農家自身が6次産業化の取り組みを進める支援策として設置した補助金を見直し、インターネットを通じた販売環境の整備や、加工業者や農家以外の主体が町内の農産物を使って加工販売がしやすい環境を整備。</p> <p>相談件数 H30.31 0件⇒R2.10月 7件 事例:シードル、ジャム、ピクルス、ネット販売の環境整備</p>	産業振興課未来農戦略係

### 3 希望を持てる町へⅡ ～産業のある町、快適な暮らしのある町～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分 野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
5	森林づくり県民税、森林環境譲与税を活用し、里山の整備、間伐材など地元産材の利活用を進めます。		2	2	<p>里山整備は住民による組織ができて活動が始まっており、地域への根付きや広がりが起こるよう支援していく。</p> <p>三日町福与地区里山整備利用推進協議会における間伐等を実施。間伐材の出荷も実施。</p> <p>R1=0.42ha 搬出材30m<sup>3</sup> R2=30.5ha(予定)</p> <p>森林環境譲与税については主に経営管理制度の準備に振り向けられているが、地元要望による危険・支障木除去に繋がる森林整備箇所を選定中。</p>	産業振興課耕地林地務係
6	人が集う中心市街地への再生、商店や飲食店の開店支援、空き家のリノベーションを推進し町の活性化を図ります。		2	2	<p>令和元年に街路灯にフラックアームを設置し、「にぎわい」の創出に寄与。</p> <p>令和2年度は、「松本山雅フラッグ」、「フェンシングフラッグ」を掲出。</p>	産業振興課商工観光推進室
7	現在策定中の「箕輪町工業ビジョン」に基づき工業振興施策を実施します。新たな活力につながる産業を創出するため、企業誘致や企業・創業を促進します。	⑧	2	2	<p>2019年3月に策定した「箕輪町工業ビジョン」に基づき、掲げた目指す姿、目標に向けた各種施策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工情報を各企業にメールで提供できるよう企業カルテを制作中。</li> <li>・2名の企業相談員を配置しきめ細やかな相談体制。</li> <li>・産業支援センターの運営 創業支援オフィス・コワーキングスペース、研修室の管理運営を継続中。更なる利用促進を図るためPR活動も継続実施。</li> <li>・企業振興・創業・事業承継講座として「IOTセミナー」、「JIS機械製図規格変更講座」を実施。</li> </ul>	産業振興課商工観光推進室
8	地域を支える中小企業の生産性の向上、高付加価値化に対する支援、また、地域内連携による受注機会や販路の拡大などの支援を進めます。また、後継者難などにより事業を断念することがないよう事業継承を支援します。		2	2	<p>「箕輪町工業ビジョン」推進ため各種施策を展開</p> <p>新技術・新製品開発事業補助金 令和2年度予算額5,000千円・・・5社に支援。</p> <p>制度設立4年目にあたり更なる町内企業の高付加価値生産につながる技術革新に寄与している。</p> <p>その他各種補助金を設け支援。 企業支援相談員1名が事業承継コーディネーターとなり支援を継続中。</p>	産業振興課商工観光推進室

### 3 希望を持てる町へⅡ ～産業のある町、快適な暮らしのある町～

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度が高いもの 2:取組中 1:未実施

基本政策	重点 10分野	評価		進捗状況	担当課
		1年	2年		
9	赤そばの里、紅葉のもみじ湖などの観光スポットの育成、環境整備を行うとともに、これら観光による地域づくりを行う担い手、団体などを支援します。(一社)長野伊那谷観光局、町観光協会と連携し、広域観光を戦略的に推進する中で、町の発信、誘客の推進につとめます。	2	2	新型コロナの関係で今年は赤そばの播種が出来ず誘客が出来なかった。今年、赤そばで乾麺を製造し町のPR媒体として活用。 もみじ湖は、じゃらんネットの全国おすすめ紅葉スポットランキング2020で1位になり前面に出し広報し、紅葉祭期間の来場者数は、昨年31,000人に対して、今年は期間途中で41,000人を超えている。今後も観光協会と協力し情報発信媒体を活用しながら町の観光情報を発信していきたい。 68,000人	産業振興課商工観光推進室
10	萱野高原、ながた自然公園のあり方について検討します。	2	2	本年度策定する観光戦略プランをベースに、新たな誘客や消費を生むために必要な投資について検討します。	産業振興課商工観光推進室
11	国道、県道の改良、改善を関係機関に強く働きかけます。 ・箕輪バイパス4車線化整備 ・竜東線の狭隘、渋滞箇所の改良 ・与地辰野線の通学路の歩道設置	3	3	・箕輪バイパス4車線化整備 ⇒ 沢上交差点から中央道橋梁下まで舗装工事実施中。今後は県道南小河内・松島停車場線まで整備予定。 ・竜東線の狭隘、渋滞箇所の改良 ⇒ 狭隘箇所の改良は、地権者との交渉が難航している。渋滞箇所の改良については、今後も関係機関に強く働きかけます。 ・与地辰野線の通学路の歩道設置 ⇒ 下古田四阿から南へ約100m設置。今後はさらに南へ約50m設置予定。	建設課建設管理係
12	道路、橋梁等のインフラ整備について、道路等整備計画を策定し計画的に整備を進めます。また、通学路のグリーンベルト化を危険度、緊急性を考慮して進めます。	2	2	令和元年度、橋梁長寿命化修繕計画の更新を実施。 橋梁補修工事 山の田橋(町道1号線八乙女)実施済 グリーンベルト設置工事 L=607m実施済 H30 町道337号線(郵便局南) L=432m ・R1 町道3号線(大出公民館南) L=208m ・R2 町道2号線(長田ローソン南) L=399m R2 町道3号線ほか L=300m 実施予定 ・懸案であった西小学校通学路中の木下一の宮の支障木伐採事業は完了。 ・令和元年度のグリーンベルト設置工事は、町道3号線(大出)の大出コミュニティセンターから扇タンクの間を実施済。今後もPTA連合会等の要望において、施工箇所を検討する。	建設課建設工事係  学校教育課教育総務係
13	リニア中央新幹線長野駅と上伊那北部地域との国道、飯田線等のアクセスの改善について関係市町村と連携し取組みます。	⑨	2	リニア中央新幹線建設促進長野県協議会に参画し、アクセス手段の確保・整備に取組むとともに、地域振興策について検討中 ・伊南バイパス開通(駒ヶ根市～飯島町間) ・伊那バイパス(伊那市区間)施工中 引き続き関係する市町村と連携し、上伊那広域で北部地域のアクセス改善に取り組む。	企画振興課まちづくり政策係  建設課建設管理係

### 3 希望を持てる町へⅡ ～産業のある町、快適な暮らしのある町～

4: 実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3: 取組中で進捗度が高いもの 2: 取組中 1: 未実施

	基本政策	重点 10分野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
14	飯田線の利活用を促進するとともに、町内3駅(沢、松島、木下)の環境改善に取り組みます。		2	3	・木ノ下駅公衆トイレ9月供用開始 ・沢駅利用者用駐車場10月供用開始 ・伊那松島駅トイレは、町にて既存トイレ改築ができるかJR東海へ打診中	住民環境課生活環境係
15	「残さず食べよう運動」や「生ごみのひとしぼり運動」に取り組み、ごみの減量を推進します。		2	2	・チェックシート付「家庭での食品ロス」冊子を全戸配布し、食品ロス削減の啓発を実施 ・引き続き「30・10運動」を推進	住民環境課生活環境係
16	高齢化、後継者不在等の状況をふまえ合葬式墓地の設置について検討します。		2	2	・実施設計の基礎となる現地測量委託済み、11月完了予定。 ・建設時期を見据え実施設計を予定	住民環境課生活環境係
17	町民の暮らしを支える上下水道の健全な事業運営に努めるとともに、老朽管の更新・耐震化を計画的に推進します。特に、上水道の有収率の向上対策、下水道の加入促進、不明水対策を進めます。		2	2	(老朽管)重要施設給水管路について、R2年度から国庫補助対象として事業実施中。  (上水道有収率向上)ピンポイントでの実施及び重要施設給水管路更新事業で実施中。  (下水道加入促進)下水道接続推進補助金についてR2年度20件の申請。  (不明水)特定した流入箇所対策について、工法検討中	水道課水道工事係

#### 4 住民に信頼され、期待に応えられる行政運営

4:実施済みまたは具体的な成果が表れているもの 3:取組中で進捗度合いが高いもの 2:取組中 1:未実施

	基本政策	重点 10分野	評価		進捗状況	担当課
			1年	2年		
1	現在策定中の「箕輪町行政経営計画」、「箕輪町職員人材育成計画」に基づき「町民と共に歩む行政」、「町民に信頼される行政」を目指します。毎年度、方針に基づく取り組みについて取りまとめ、その内容及び取組結果を公表します。		2	2	・職員人材育成基本方針に基づく研修等への参加、実施(64人受講) ・研修の受講状況の公表 ・人事評価の結果を全常勤職員への処遇への反映の検討(小委員会の開催)	総務課人事係
2	広聴の手法を充実し、全戸に対して年1回「町長への手紙」を実施し、町民の意見を町政に反映します。また、町民の声データベースを作成、情報の共有を図ります。広報・広聴アドバイザーを任用し住民満足度を高める情報の活用、戦略的広報を行います。	⑩	3	3	R1.8から町長への手紙を実施し、R2.10までに累計149件の意見・提案うち11件の提言について、事業化または事業実施に向けて進行中(合葬式墓地・沢駅駐車場・ベビーチェア等) 広報・広聴アドバイザーの任用については、今後検討していく。	企画振興課 まちづくり政策係 みのわの魅力発信室
3	わかりやすい住民向けの予算説明書を発行して、仕事と財政の見える化を進めます。また、公共事業、イベント、行政サービスのコストを公表します。		1	1	令和3年度発行できるよう、取り組み事例等を参考にしながら検討を進めている。	企画振興課財政係
4	公共施設等総合管理計画に基づき個別施設の長寿命計画を策定します。計画策定に当たっては、財政見通しを明らかにしつつ施設の安全性確保を優先します。		2	2	令和元年度において業者へ委託し施設の現況調査を実施済み。令和2年度12月定例会の全員協議会で計画策定の説明を予定している。	企画振興課財政係
5	箕輪町の魅力を町内外に向けて発信するため、戦略的にシティプロモーションを推進します。町民誰もがまちづくりに関心を持ち、主役としてまちづくりに参加できるように情報の共有化に努めます。		2	2	広報紙、町HP、もみじチャンネル、音声告知放送、SNS等を利用して情報を提供している。 広報紙作成業務については、R3年から新たに3年契約を業者と結ぶため、より魅力的なものとなるようプロポーザル方式にて業者を選ぶよう準備を進めている。 町民を巻き込んだ展開については、今後検討していく。	企画振興課みのわの魅力発信室